



水道 GLP 認定証授与式

水道 GLP 認定委員会で認定及び認定の更新が決定した下記の水質検査機関の認定証授与式を日本水道協会理事長室において行った。



9月6日

川崎市上下水道局
(認定番号：JWWA-GLP011)



9月13日

一般財団法人 宮崎県公衆衛生センター
(認定番号：JWWA-GLP138)



9月25日

一般財団法人 三重県環境保全事業団
(認定番号：JWWA-GLP113)

第30回給水装置に関する規格専門委員会（9月3日）

初めに副委員長の指名を行い、山口委員長より谷本知之東京都水道局給水部給水課長が指名され、了承された。

続いて、水道用ステンレス鋼鋼管及び同継手（JWWA G 115、116）の規格改正案について審議を行った。

配管設計講習会（東北会場：9月5日～7日）

水道事業体及び設計業者等の経験が少ない水道技術者の方々51名の参加を得て、「水道の課題と設計業務」、「配管設計・積算の基礎知識」、「製図の基本」、「管路（GX形）の製図演習」、「積算の基本」、「管路（GX形）の積算演習」について研修を実施した。

未納料金対策実務研修会（東京会場第2回：9月6日・9月7日

大阪会場第2回：10月1日・10月2日）

水道事業体及び賛助会員の主に料金徴収業務に携わるの方々110名（東京会場第2回47名、大阪会場第2回63名）の参加を得て、未納料金対策（給水停止、支払督促等）について実務を主体とした研修会を実施した。

また、グループ別のディスカッションにおいては、活発な情報交換が行われた。

浄水場等設備技術実務研修会（東京会場第5回：9月11日～14日）

浄水場・給水所等の運転管理に携わる技術系職員（水道関係企業所属）の方々を中心に15名の参加を得て、東京都水道局研修・開発センターの訓練用設備を利用して、実際にポンプの分解組立等、機器類の運転・操作及び浄水処理について実習するとともに、設備機器の保守・管理の実務について研修を実施した。

第22回水道用塗料等に関する規格専門委員会（9月12日）

初めに副委員長の名指を行い、宮本委員長より栗原諭岡山市水道局配水部配水課長が指名され、了承された。

続いて、水道用タールエポキシ樹脂塗料塗装方法（JWWA K 115）の規格改正案について審議を行い、一部修正の上、了承された。

第726回抄録委員会（9月12日）

本誌11月号・12月号に掲載する外国文献の抄録内容等について審議を行った。

第135回水道 GLP 認定委員会（9月18日）

水道 GLP 認定について、一般社団法人愛知県薬剤師会生活科学センター（JWWA-GLP014）、名古屋市上下水道局（JWWA-GLP015）と福井市企業局（JWWA-GLP067）が認定更新検査機関として、千葉県水道局（JWWA-GLP088）が認定維持検査機関として、それぞれ審議され決定された。

第32回広報専門委員会（9月19日）

はじめに、審議事項1「正・副委員長の互選について」を行い、委員長には東京都水道局サービス推進部サービス推進課長の金山委員を、副委員長には名古屋市上下水道局経営本部企画経理部広報サービス課長の小野田委員をそれぞれ選任した。

続いて、事務局より報告事項1「第60回水道週間について」の報告を行った。

最後に、事務局より2018年第11回国際水協会（IWA）世界会議・展示会の概要を説明し、東京都虹の下水道館及び東京ビッグサイトで開催中の同世界会議・展示会を視察した。



水道技術者ブロック別研修会（豊中市：9月20日・21日）

水道事業体及び水道関係機関等の技術職員を対象に6月19日・20日に予定されていた関西ブロックでの開催は、大阪北部地震の発生により延期し、9月20日・21日に59名の参加を得て「水道概論」、「水道維持管理」、「水質管理」、特別講義「上水道事業にかかわる事故事例と再発防止策」について振替開催による研修を実施した。

第968回会誌編集委員会（9月25日）

本誌10月号の編集方針、投稿原稿の査読、新規原稿の取扱い等について審議を行った。

漏水防止講座（東京会場第4回：9月26日～28日）

水道事業体及び賛助会員の漏水防止に従事する技術系職員の方々40名の参加を得て、東京都水道局研修・開発センターにおいて研修会を実施した。1日目及び2日目に「漏水防止概論」、「漏水防止の現状と課題」、「漏水防止作業」、「漏水探知技術」、「漏水機器の取り扱い」について講義を行い、最終日には、漏水防止関連機器を使用した実技研修を行った。